

令和元年(行ウ)第9号 田村市バイオマス発電事業公金支出差止等請求住民
訴訟事件

原告 久住秀司 外10名

被告 田村市長本田仁一

令和2年5月 日

上記原告ら訴訟代理人

弁護士 坂本博之

福島地方裁判所 御中

証拠説明書 (3)

(甲33~47)

証拠番号	証拠の標目	作成者	作成年月日	立証趣旨
甲33号証 (写し)	田村バイオマス発電設備におけるHEPAフィルタについて	NPO 法人市民放射能監視センター 副理事長 青木一政	2020年5月14日	甲22の改訂版。甲22の11p・脚注13に誤記があったので訂正したもの。立証趣旨は甲22と同様。
甲34号証 の1 (写し)	DOE HANDBOOK NUCLEAR AIR CLEANING HANDBOOK (抄)	米国エネルギー省	2003年11月	放射性エアロゾルとガスを捕捉し、コントロールするためのHEPAフィルタが安定的に機能するための設計、工事、試験の内容等。
甲34号証 の2 (写し)	米国エネルギー省 ハンドブック 核空気清浄化ハンドブック	翻訳者 青木一政	翻訳日 2020年5月	甲34の1の中の、本件で証拠として使用する部分の翻訳文。

甲 35 号証 (写し)	JIS 放射性 エアロゾル 用高性能エ アフィルタ JIS Z 4812	日本工業標準 調査会	平成 7 年 3 月 1 日	放射性エアロゾル を除去する目的で 使用する HEPA フィ ルタに要求される 性能、部品および 材料、構造、試験 の内容等。
甲 36 号証 (写し)	放射能濃度 等測定方法 ガイドライ ン 平成 25 年 3 月 第二版	環境省	平成 25 年 3 月	放射性物質を含む 廃棄物を焼却した 場合の排ガス中の セシウム濃度の基 準等。
甲 37 号証 (写し)	災害廃棄物 の広域処理 の推進につ いて(東日本 大震災によ り生じた災 害廃棄物の 広域処理の 推進に係る ガイドライ ン)	環境省	平成 24 年 1 月 11 日改訂	環境省は、放射性 セシウムの濃縮率 について、飛灰の 発生量から算定し ていること等。
甲 38 号証 (写し)	平成 19 年度 環境保全用 バグフィル タ集じん設 備及び関係 する課題の 標準化報告 書	社団法人日本 機械工業連 合会、社団法人日 本粉体工業技 術協会	平成 20 年 3 月	バグフィルタは、 目詰まり、粉塵漏 れ、破損等の故障 がしばしば発生す ること等。
甲 39 号証 (写し)	意見書「バグ フィルター のセシウム 除去効率に	琉球大学名誉 教授 矢ヶ崎 克馬	2015 年 4 月 30 日	気体又は液体とな ったセシウムの全 量が固体状態にな るとは限らないこ

	ついて」			と、微小微粒子となった、或いは微粒子に付着したセシウムはバグフィルタを通過すること、微粒子となった、或いは微粒子に付着したセシウムは、気体のままでいるセシウムよりも数桁大きいと推測されること等。
甲 40 号証 (写し)	バグフィルタが持つ問題点	弁護士・理学博士 梶山正三	2012年3月30日	バグフィルタの濾過効果は、確率的なものに過ぎないこと、粒径の大きな粒子は捕捉される可能性が高く、粒径の小さな粒子は捕捉される可能性が低くなる、というものであること、バグフィルタを通過する粒子があるということは、その性質上必然的なものであること等。
甲 41 号証 (写し)	放射性物質を処理する焼却炉周囲の空間線量率に関する研究	岩見億丈ほか	2014年	岩手県宮古市における災害廃棄物の焼却に関して、バグフィルタでの捕捉率は80%と判断されるという研究結果があること、

				国が福島県鮫川村に設置した農林業系副産物等処理実験事業におけるバグフィルタを用いた仮設焼却炉での放射性セシウムの回収率は75%程度であったと判断されること等。
甲 42 号証 (写し)	宮古市「放射性物質に汚染された農林業系副産物の焼却処理」に伴う放射性セシウムの大気への漏出	同上	2013 年 12 月 12 日	同上。
甲 43 号証 (写し)	平成 29 年田村市議会 12 月定例会会議録 (第 3 号)	田村市議会	平成 29 年 12 月 7 日	平成 29 年 12 月 7 日の田村市議会定例会の席上、田村市長本田仁一が、燃料チップが本件焼却炉に投入される直前のベルトコンベア上で、全量放射線量の測定が行われる趣旨の発言をしたこと等。
甲 44 号証 (写し)	平成 30 年田村市議会 3 月定例会会議録 (第 3 号)	田村市議会	平成 30 年 2 月 22 日	平成 30 年 2 月 22 日の田村市議会定例会の席上、田村市産業部長白鳥宏が、燃料チップが本件焼却炉に投入

				される直前のベルトコンベア上で、全量放射線量の測定が行われる趣旨の発言をしたこと等。
甲 45 号証 (写し)	放射性物質の挙動からみた適正な廃棄物処理処分(技術資料 第四版)	独立行政法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター	平成 26 年 4 月 14 日	バグフィルタで煤塵が 99.9%ないし 99.99%捕集されたとしても、0.1%ないし 0.01%は通過してしまうこと等。
甲 46 号証 (写し)	JIS コンタミネーションコントロール用語 JIS Z 8122	日本工業標準調査会	平成 12 年 3 月 20 日	被告が、本件 HEPA フィルタが準拠しているという JIS の内容。この JIS は、本件施設に使用される HEPA フィルタに適用されるべき内容ではないこと等。
甲 47 号証 (写し)	放射性物質汚染廃棄物焼却施設における排ガス中微粒子の粒子個数濃度測定によるバグフィルタ部集じん率の評価	庄司貴、飯野翔太、高橋克行、鹿島勇治、小山陽介、山本貴士、大迫政浩	2019 年	バグフィルタの原落とし作業により、バグフィルタの集塵性能が落ちること等。